

(肝属郡根占町横別府字桜ヶ尾)

位置と環境

本遺跡は、町役場から東へ約7kmで、階段状の畑地として開墾された横別府の台地上に位置している。北東になだらかに下る斜面にあり、標高は約220～240mを測る。

この台地の南には辻岳・野首岳を主峰とする辻岳山塊が南西に延びる。東には、遺跡から直接望むことはできないが、雄川の支流でもある赤瀬川が崖下を流れている。

調査の経緯

九州農政局『国営総合農地開発事業肝属南部地区』の事業実施計画に伴う分布調査の結果、工事計画内に遺物が確認された。

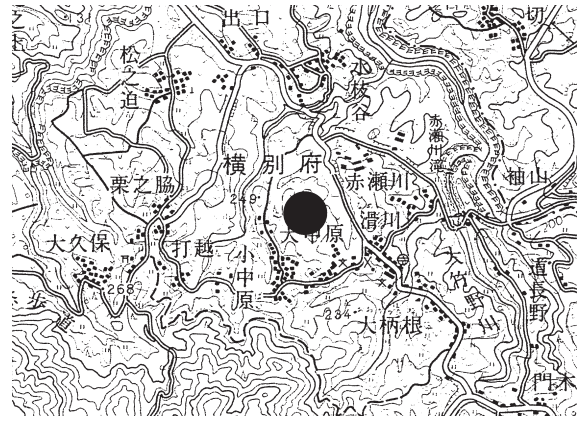
そこで、協議の結果、町教育委員会は、県教育委員会の協力を得て、平成4年10月に確認調査を実施し、縄文時代早期の遺構・遺物が発見された。

さらに、大幅に削平を受けるために再協議した結果、工事着手前の平成9年に本調査を実施した。

調査面積は、8,025㎡である。

遺構と遺物

本遺跡の遺構・遺物は、いずれも縄文時代早期に該当するもので、竪穴住居状遺構4基、土坑6基、集石遺構29基、集積遺構4基、石器製作跡1か所な



第1図 大中原遺跡の位置

どを検出した。

出土遺物は、前平式土器、吉田式土器、石坂式土器、下剥峯式土器、桑ノ丸式土器、塞ノ神式土器などの土器や、磨製石斧、石鏃、石皿、磨石などの石器も多数出土した。

そのほかにも珍しい遺物では、第二次世界大戦中に日本の戦闘機「紫電改」が墜落し、その墜落地点より地面に突き刺さった状態の機銃が発見された。これは元海上自衛隊鹿屋基地資料館協力員であった渡邊昭三の調査により墜落日時や搭乗者等が判明した。

このほか、遺跡では火山災害跡が確認された。今から約6,300年～6,700年前に、鬼界カルデラを噴出源とする幸屋火砕流によってなぎ倒された樹木が燃え、くすぶった状況の中で火山灰が降り注いだもの

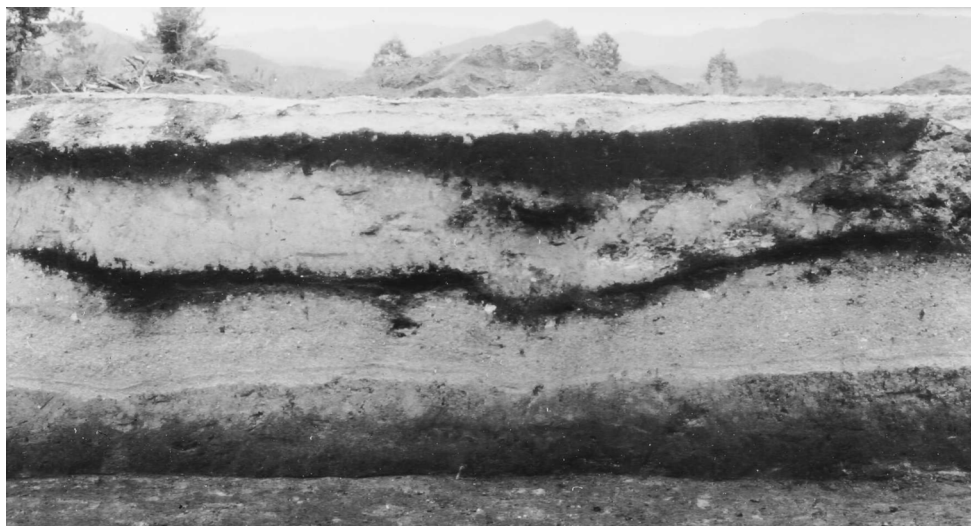


写真1 鬼界カルデラ噴出物と炭化木

と考えられる炭化木が約5mに渡って検出された。この炭化木の樹種同定の結果、コナラ属アカガシ亜属（アカガシ・イチイガシ・アラカシ・シラカシなど）であることが判明した。

遺構としては、多くの竪穴住居状遺構が検出された。柱穴跡や炉跡などの有無を確実に捉えられなかったが、方形を基調とする竪穴遺構を有する遺構であることは間違いのないことから、竪穴住居「状」遺構として捉えた。

集石遺構は29基を検出した。集石は、掘り込みの有無・礫の集中度・敷石の有無によって大きく3種に分類した。その中で掘り込みがなく礫が集中しているものが最も多かった。

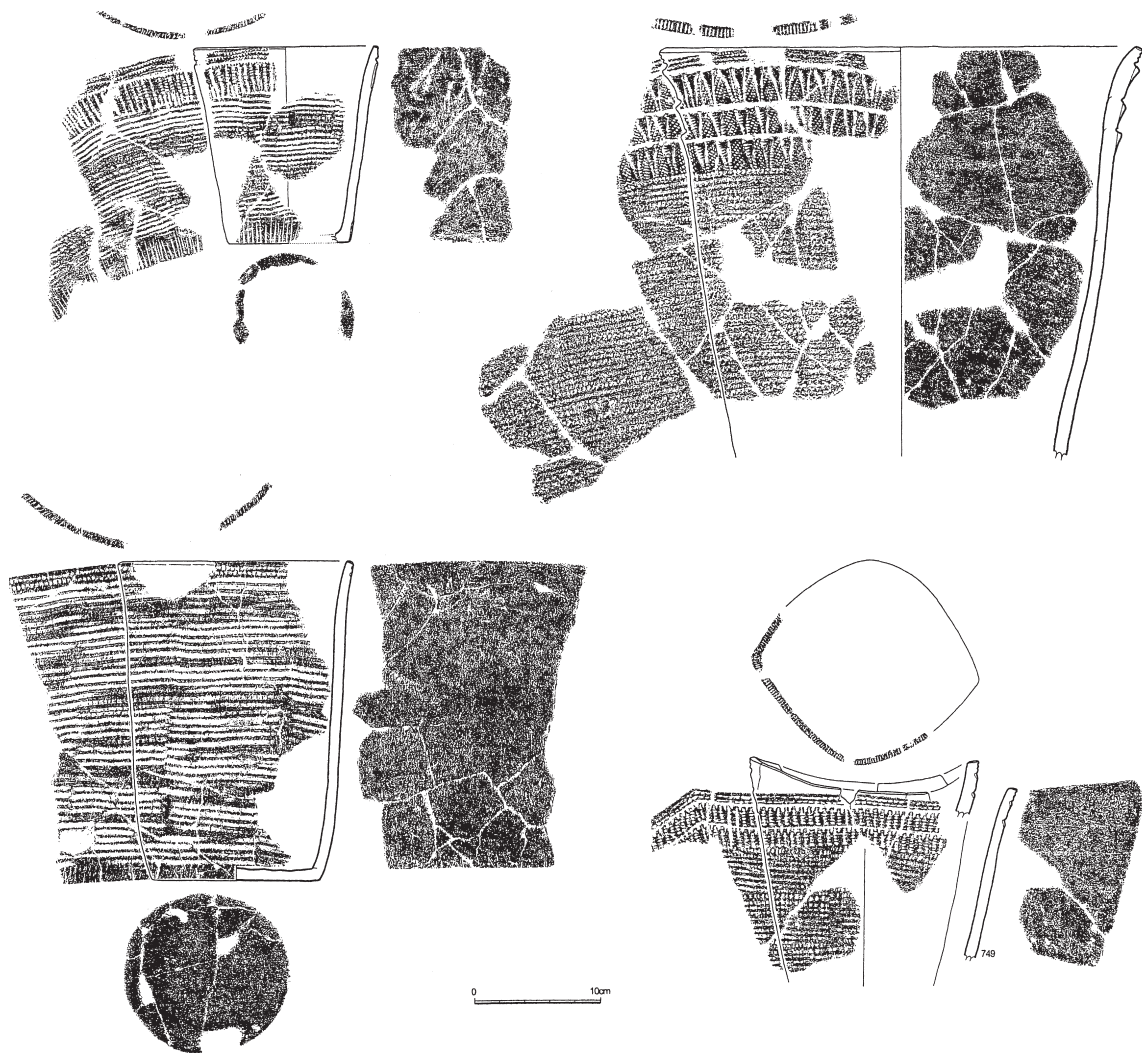
出土した遺物は、本遺跡で主体を占めるもので、吉田式土器の範疇で捉えられる土器群がある。この

土器は、基本的に胴部に押引文が施されるという共通事項をもつ円筒土器であるが、少量ながら角筒土器も出土している。

さらに、注目されるのは、土器の上面からの観察がレモン形を呈する形状の土器が出土した。角筒土器は、口縁部に4か所の頂部をもつものに対し、レモン形土器は2か所に頂部をもつもので、このレモン形のほぼ完形に近い好資料が出土した。

石器は、総数317点が出土し、全体の4分の1が磨製石斧であった。このほかに磨石・敲石・凹石・石皿といったいわゆる調理具も多く出土した。

磨石は、花崗岩質のものが多く、中には火熱のために破碎寸前で、取り上げすらできないボロボロの状態のものもあった。この花崗岩はいわゆる肝属山地が基盤で、この地域では特に得やすい石材であっ



第2図 出土土器

たことが考えられる。

石皿は、磨面が凹面を呈するものとそうでないもの、凹石状の凹部を持つものの3タイプが存在する。その中には、石皿の磨面を有する面はもちろん、その反対側の面にも凹部を複数もつ石皿もある。いわゆる蜂の巣石といわれている石器で本県では数点が出土している。さらに、注目される石器に鎌形剥片石器がある。この石器は、宮田栄二によって命名された石器で、大型や中型の剥片の鋭利な部分を刃部とする石器で、植物質食料の採集・収穫あるいは生産に関わる石器である。本遺跡から14点出土したが、すべて頁岩で、主として横長剥片を利用したものである。刃部には微妙な加工がみられるものもあるが、多くは使用痕のみ観察できるものである。この石器は形態的に略長方形を呈するものと略三角形を呈するタイプが存在する。

特徴

これほど吉田式土器がまとまって出土した例は、大隅半島では初めてで、他地域を見ても吉田町の小山遺跡、栗野町山崎B遺跡、松元町前原遺跡などが知られている程度である。しかもそのいずれの遺跡よりも量が多いと考えられ、吉田式土器の研究史上欠くことのできない貴重な資料となった。

資料の所在

出土遺物は、根占町教育委員会に保管されている。

参考文献

根占町教育委員会2000「大中原遺跡」『根占町埋蔵文化財発掘調査報告書』9

(下大川 司)



第3図 出土石器